

平成19年10月30日

各位

会社名 株式会社 商船三井
代表者名 代表取締役社長執行役員
芦田 昭充
コード番号 9104
東証・大証・名証各1部 福岡 札幌
問合せ先 執行役員財務部長 青砥 修吾
(TEL 03-3587-6277)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増額）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年7月27日の決算発表時に公表しました業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期の通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成19年7月27日発表)	億円 18,300	億円 2,100	億円 2,300	億円 1,450	円 銭 121 31
今回修正予想(B)	19,200	2,700	2,800	1,850	154 65
増減額(B) - (A)	900	600	500	400	33 34
増減率(%)	+4.9%	+28.6%	+21.7%	+27.6%	+27.5%
(参考) 前期 (平成19年3月期) 実績	15,684	1,680	1,824	1,209	101 20

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成19年7月27日発表)	億円 14,800	億円 1,600	億円 1,850	億円 1,240	円 銭 103 67
今回修正予想(B)	15,700	2,150	2,300	1,550	129 49
増減額(B) - (A)	900	550	450	310	25 82
増減率(%)	+6.1%	+34.4%	+24.3%	+25.0%	+24.9%
(参考) 前期 (平成19年3月期) 実績	12,439	1,117	1,289	813	68 00

2. 業績予想修正の理由

燃料油価格の高止まりが損益圧迫要因となっておりますが、主にドライバルク船において運賃市況の上昇が利益の増大に結びついております。下期以降も海運市況は堅調に推移するものとの見通しのもと、前回発表の通期業績予想を上方修正致しました。

3. 配当の内容及びその理由

当社は、平成19年10月30日開催の取締役会において、以下のとおり平成19年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

	決定額	直近の配当予想 (平成19年7月27日発表)	前期実績 (平成19年3月期中間)
基準日	平成19年9月30日	同左	平成18年9月30日
1株当たり 配当金	14円00銭	10円00銭	9円00銭
配当金の総額	16,757百万円	—	10,761百万円
効力発生日	平成19年11月29日	—	平成18年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社は、積極的な事業投資による企業価値向上及び配当を通じた株主への直接的な利益還元を経営上の基本方針に据え、当面の間は連結配当性向20%を目安として業績に連動した配当を行うこととしております。

平成20年3月期の配当予想につきましては、今回の業績予想の修正に基づき、1株当たり通期28円（中間14円、期末14円）に増額修正致しました。

※ 配当予想は次のとおりとします。

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成19年7月27日発表)	10円00銭	10円00銭	20円00銭
今回修正予想		14円00銭	28円00銭
当期実績	14円00銭		
前期実績(平成19年3月期)	9円00銭	11円00銭	20円00銭

以上

(注) 将来に関する記述等についてのご注意

当発表資料中、過去または現在の事実以外に関する計画、戦略など将来の業績見通しにつきましては、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容に確約や保証を与えるものではありません。これらの見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断によるものです。実際の業績は、今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、燃料油価格、その他の経済、社会政治情勢や偶発事象の結果など様々な要素により、これら業績見通しとは、大きく異なる可能性があることをご承知おきください。